

高3 物理総合 S・SA～後期第4回～〈解答〉◆単振動◆

<予習問題>

- 【1】 問1 ② 問2 ④ 問3 ① 問4 ② 問5 ③
 問6 ③ 問7 ④ 問8 ⑤ 問9 ② 問10 ①

<演習問題>

【1】

問1 ばねの弾性力と重力のつりあいにより、 $kd = (m + M)g$ すなわち、 $d = \frac{(m + M)g}{k}$

問2 振動の周期 T は、 $T = 2\pi\sqrt{\frac{m + M}{k}}$ とあらわせることから、角振動数 ω は、

$$\omega = \frac{2\pi}{T} = \sqrt{\frac{k}{m + M}}$$

また、振動の中心 x_0 は、つりあいの位置に等しく、 $x_0 = l_0 + \frac{(m + M)g}{k}$

問3 皿はつりあいの位置を中心として、振幅 A 、角振動数 ω の単振動をする。

$$\text{すなわち、} x = l_0 + \frac{(m + M)g}{k} + A\cos\left(\sqrt{\frac{k}{m + M}}t\right) \quad \cdots\text{①}$$

問4 ばねの伸びに注意すると、それぞれの物体の運動方程式はつぎのようになる。

$$Ma = -k(x - l_0) + N + Mg \quad , \quad ma = -N + mg$$

問5 上の2式より加速度 a を消去すると、 $N = \frac{mk}{m + M}(x - l_0)$

$$\text{さらに①式の } x \text{ を代入すると、} N = mg + \frac{mkA}{m + M} \cos\left(\sqrt{\frac{k}{m + M}}t\right)$$

小球が皿から浮き上がらないための条件は、 $N \geq 0$

$$\text{これにより、} A \text{ の最大値 } A_{\max} \text{ は、} A_{\max} = \frac{(m + M)g}{k}$$

【2】 問1 ア：斜面方向の力のつりあいより、 $k\left(\frac{5}{4}L - L\right) = mg\sin 30^\circ \quad \therefore k = \frac{2mg}{L}$ [N/m]

問2 イ：質量 m の小球がばね定数 k のばねに結ばれた単振動と同等であるから、

$$\text{この単振動の周期 } T \text{ は、問1の関係も用いて } T = 2\pi\sqrt{\frac{m}{k}} = 2\pi\sqrt{\frac{L}{2g}} = \pi\sqrt{\frac{2L}{g}} \text{ [s]}$$

ウ：端から振動中心までの運動時間であるから、 $t_1 = \frac{T}{4}$ [s]

エ：この単振動に対する等速円運動を考えると、この円周上を $\frac{1}{3}$ 周する時間に

$$\text{等しいから、} t_2 = \frac{T}{3} \text{ [s]}$$

オ：小球の速さを v とすると、力学的エネルギー保存則より、

$$\frac{1}{2}mv^2 + mg\left(\frac{5}{4}L + \frac{L}{2} - L\right)\sin 30^\circ = \frac{1}{2}k\left(\frac{5}{4}L + \frac{L}{2} - L\right)^2 \quad \therefore v = \frac{\sqrt{6gL}}{4} \text{ [m/s]}$$

<別解>

小球の速さを v とし、つりあいの位置を基準にとると、力学的エネルギー保存則より、

$$\frac{1}{2}mv^2 + \frac{1}{2}k\left(\frac{1}{4}L\right)^2 = \frac{1}{2}k\left(\frac{1}{2}L\right)^2 \quad \therefore v = \sqrt{\frac{3}{8}gL} = \frac{\sqrt{6gL}}{4}$$

問3 カ：運動量変化と力積の関係より、 $0 - mv = -mg\sin 30^\circ \cdot (t_3 - t_2)$

$$\therefore t_3 = t_2 + \frac{v}{g\sin 30^\circ} = t_2 + \frac{1}{2}\sqrt{\frac{6L}{g}} \text{ [s]}$$

<別解>

ゴムがたるんでいる間、物体の加速度 a は斜面に沿って上向きを正とすると、

$$a = -g\sin 30^\circ = -\frac{g}{2} \quad \text{よって、} v + a(t_3 - t_2) = 0 \quad \therefore t_3 = t_2 + \frac{2v}{g} = t_2 + \frac{1}{2}\sqrt{\frac{6L}{g}} \text{ [s]}$$

キ：求める距離を D とすると、力学的エネルギー保存則より、

$$\frac{1}{2}mv^2 = mg(L - D)\sin 30^\circ \quad \therefore D = \frac{5}{8}L \text{ [m]}$$

問4 問3カと問2イより、 $t_3 = \frac{T}{3} + \frac{1}{2}\sqrt{\frac{6L}{g}} = \left(\frac{1}{3} + \frac{\sqrt{3}}{2\pi}\right)T$

$$\therefore \frac{2t_3 - T}{2t_3} \times 100 = 100 - \frac{100}{\left(\frac{2}{3} + \frac{\sqrt{3}}{\pi}\right)} \doteq 17.9[\%]$$

問5 求める長さを X として、力学的エネルギー保存則より、

$$\frac{1}{2}kX^2 = mg(X + L)\sin 30^\circ \quad \text{問1アを用いて整理すると、}$$

$$(2X + L)(X - L) = 0 \quad \text{よって } X > 0 \text{ の条件下でこれを解いて、} X = L \text{ [m]}$$